

○議長 横尾 武志君

次に1番、内海議員の一般質問を許します。内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

1番、内海です。今回、新型コロナウイルスのことについてお尋ねいたします。

まず件名1、新型コロナウイルス感染症に対する町の取組ということで、先ほど川上議員のほうからも一般質問ございましたので、多少重複するところがあるかも分かりませんが、そこはできるだけ省いて質問させていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、不要不急の外出の制限、雇用、減収、消費低迷など、私たちの生命と暮らしに深刻な影響をもたらしています。そのような中、芦屋町では第1弾、第2弾、第3弾と町独自の支援策を実施していただき、町民の皆さんが少しは安心されたことではないかと思っていますし、このことは町長、職員の皆さんが一丸となって努力されている結果だと思っております。しかし、これから秋冬にかけてインフルエンザの流行も懸念される中、新型コロナウイルスとは長い付き合いになることが予測されます。日々刻々と変わっていく状況ですが、現時点で町民の皆さんが抱える不安に対して質問をさせていただきます。

まず要旨1点目、発熱の症状などで新型コロナウイルスへの感染が心配なときの対応は、どのようにすればよいのかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

執行部の答弁を求めます。健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

息苦しさや強いだるさ、高熱等の症状のいずれかがある場合や、重症化しやすい方で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪の症状がある場合、それ以外の方で、発熱やせきなど比較的軽い風邪の症状が続く場合は、各保健所に設置しています帰国者・接触者相談センターに電話をかけて相談することになっています。芦屋町の方であれば、宗像・遠賀保健福祉環境事務所に電話していただくことになります。

センターで相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いがある場合には、宗像・遠賀保健福祉環境事務所が指定しています帰国者・接触者外来などの協力医療機関を受診し、PCR検査が必要と判断された場合、保険適用で検査を受けることが可能となります。この場合、自己負担の費用についても公費で負担する仕組みとなっています。

また最近では、保健所が指定していない病院でも対応できる医療機関があると聞いていますので、かかりつけ医に相談されることもよいかと思えます。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

今、言われました保健所または帰国者外来等につきましては、町のお知らせですか、それと県の、こういうような福岡県だよりも書いてあります。

ただ、よく耳にするのが、保健所の多忙化によって、なかなか電話が繋がらないという状況を聞いております。特に保健所は、過去の統廃合によっての影響、それからコロナウイルスの感染拡大、それから濃厚接触者の追跡調査等々で、大分業務が多忙になっているということを聞いておりますが、現状の保健所の対応状況は、どのように情報としては入っておられるかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

宗像・遠賀保健福祉環境事務所に確認しましたところ、当初、宗像・遠賀保健福祉環境事務所管内には帰国者・接触者外来が2か所しかなく、検査や受診の必要性の高い方、危険性が高い方を優先していたとのことで、結果として検査まで時間がかかった方もおられたようです。さらに、電話相談が一日200件を超える日もあり、電話が繋がりにくい状態もあったと聞いています。

その後、宗像・遠賀保健福祉環境事務所は、遠賀・中間地域に帰国者・接触者外来などの協力医療機関として、計6つの病院と契約しているようです。現在は相談受付後、当日もしくは翌日に受診、検査ができていると回答を得ています。また、電話回線の増設を行うなどの対応も行っており、夜間や休日でも相談ができる緊急連絡番号も案内するなど、相談体制の充実を図っているとのことでした。なお、相談件数は毎月1,000件を超えており、8月の一日平均相談数は約40件とのことでした。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

今、私の質問の中で、そういうふうに保健所の増所といいますか、そのようなことを行われて、ただ、町民の方々はなかなか保健所に連絡することが厳しいような状況ではないかなと思っております。できるだけ保健所と連絡を密にして、いい情報を得て、できるだけ早く町民の方々に流していただければと思っております。

次に2点目でございます。これは、先ほど川上議員もちょっと質問されましたけども、新型コロナウイルスに関し、独立行政法人芦屋中央病院との連携は取っているかという御質問でござい

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

ます。もしよろしければ、お願いいたします。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

現在のところ、特段、町と中央病院が連携を取って対応していることはございません。しかし、宗像・遠賀保健福祉環境事務所の要請を受けて、PCR検査を実施したり、発熱外来を行ったり、地域住民のため、新型コロナウイルス感染症にも対応していると認識しているところです。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

先ほど、川上議員は、くらて病院、また、北九州の病院の補正予算の増額とかいうお話をされました。8月24日には、遠賀中間医師会のほうでもPCR検査を実施するという報道が流れております。このように、多方面でいろいろPCR検査をするような状況ができておるんですが、なかなか町民の方には、そこまでなかなか情報が提供できてないんじゃないかなという気がしております。それで、中央病院とやはり情報交換をして、町民の皆さんが安心できるような対応をしていただけたらと思っています。

先ほど、中央病院の状況を、住民課長のほうから御回答がありました。一般的にはなかなかPCR検査は難しいんですが、先ほどのお話では、無症状の方についてもPCR検査ができるというお話でございましたけども、それは特段、制限はないのでしょうか。それとも、誰でもできるものなのか。もう一度、再度御答弁お願いいたします。

○議長 横尾 武志君

住民課長。

○住民課長 溝上 竜平君

これは、川上議員の質問でお答えさせていただいた内容と重複いたしますが、中央病院では町民にかかわらず、かかりつけの患者さんが希望すれば、無症状の方であっても自費でPCR検査を行う体制は確保されておると聞いております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

私が中央病院にお尋ねしたところ、無症状の方を全て受け入れるのは、なかなか、医療崩壊に

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

つながるから難しいと。ただ、かかりつけ医ということで、中央病院を日頃から受診されている方については、自費でできますよというお話はしております。けれど、それも先ほど言いましたように、医療崩壊につながるからなかなか難しいと。

もう一点お尋ねした、中央病院からお聞きしたのは、要するに発熱が出た場合、あそこの入り口に発熱外来という受付がございます。発熱の外来を出た方につきましては、要するにそこで熱をはかって、熱があるということで、順路はちょっと救急搬送のところから入るんですが、お医者さんに受診されて、お医者さんがコロナのPCR検査が必要という判断をされれば、発熱患者さんの方については全てPCR検査をしますよということを私はお聞きしまして、ちょっとびっくりしたんですよ。そういうような情報がなかなか町民の皆さんには伝わってないのではなかろうかと。全て保健所なり、どうしたらいいだろうかという不安ばかり抱えているのではないかなという気がしてるんですけども。その辺について、町民の方に流す方法といたしますか、要するに特定の、中央病院がやっていますよということではなくて、かかりつけ医の中でも発熱外来をやっているところは、多分PCR検査もやってると思うんですよ。先ほど、健康・こども課長の答弁の中では、保健所が6つの医療機関に依頼をしてPCR検査の実施もやっていますよというお話で、どこか病院名についてはなかなか公にできないというお話のようでございます。けれども、住民課のほうでそのような情報提供ができれば、住民の方々も、もし仮にそこがかかりつけ医であれば安心するのではないかなという気がしておりますけど、その辺の情報提供はできないんでしょうか。お尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

先ほど、こういった発熱等あった場合は、保健所にまずは連絡していただくという回答をさせていただきましたが、この部分は、感染の心配がある方、発熱のある方を1つの病院に集中させないように、また、これにより医療崩壊が起こらないようにということで、保健所がコントロールするという意味もございますので、そういった、1か所に集まらないような配慮は必要だということから、基本的には保健所のほうに御案内をしているというようなことでございます。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

今から秋冬にかけて、当然インフルエンザが発生する状況でございます。当然、インフルエンザというのは発熱を伴うことでございます。だから、普通、一般的であれば、インフルエンザで

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

あれば寝とけば治るだろうという安易な考えはあるんでしょうけども、今回の場合は、なかなかそういうような状況ではないような気がしてるわけですよ。だから、やはり病院も一般の方を無条件にどんどん増やすんじゃなくて、やはり、かかりつけ医という状況の中では、当然病院も対応してくれるだろうし、駄目ですよという話はないと思うんですよ。だから、町民の方は、どちらかといえば地元の芦屋中央病院ですのでね、そういうような情報提供ができれば、より一層、早くそういうような判断もできるかなと。特にお年寄りの方々につきましては、病院に行きたくない、または、なかなかそういうようなPCR検査を受けることができなくて、重篤化というのが進んでおりますので、その辺は何とか病院との調整をしていただきたいと思います。

それから、先ほど中央病院の状況をお話ししたんですけども、中央病院のほうでも、医者、それから看護師、そのような方々がPCR検査に立ち会っておられます。従前、芦屋町はそのような医療機関とか、いろんな福祉関係についてマスクの配布をされておりますけども、先日、私も中央病院にお尋ねしましたら、防護服的なものが不足しているというお話を聞きました。その辺について、中央病院と連携を取った中で、支援ができないのかということをお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

芦屋中央病院からは、今年の4月の20日に診療材料の支援依頼がございました。町が備蓄していました医療用ガウン59枚、医療用マスク200枚、医療用ゴーグル70個を支援しております。その後、特段に中央病院のほうからの支援の要請はありません。また、県に確認しましたところ、国から支援されたマスクや医療用ガウンなどの医療用物資は、県がPCR検査を依頼していることから、優先して芦屋中央病院に配付したとのことですし、また、備品等を購入する場合も補助金を出すという回答を得ております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

今、答弁では十分な対応はされているようでございますけども、私がお尋ねしたところでは、今のところちょっと不足分もありますよというお話を聞いておりますので、できましたら、支援ができるのであれば、連携を取って支援していただければと思っております。

そしたら次、要旨3点目でございます。本町ではコロナ対策として対策会議をつくっております。これは庁舎内ですね、芦屋町新型コロナウイルス感染症対策本部というのが庁舎内にできております。それで、今回の質問の中身ですけども、新型コロナウイルスに関する総合相談窓口

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

といいますか、町民宛での相談窓口の設置はどうされているのかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

新型コロナウイルスに関する総合相談窓口は設置しておりません。町独自の支援策や、国・県の支援策をホームページ等で案内する際、所管課を掲載していますので、それぞれの所管課に問い合わせさせていただくことになっております。問合せの内容によって所管課が分からないようなときは、感染症対策本部の事務局である健康・こども課にお尋ねになっていただければ、確認して所管課を御案内するようしております。

このような対応を行っていることから総合相談窓口は設置しておりませんが、健康状態など心配事がありましたら、感染症対策本部の事務局であります健康・こども課へお電話をいただければと思っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

設置してないということでございます。

町民の皆さんは、情報としてどこの課に尋ねたら一番いいのかというのは、なかなか分からない。今回、町のほうで第1弾、第2弾、第3弾の支援策をされました。その折には、それぞれの支援事業、要するに給付金等については担当課の名前が明記されておりました。それは、申請方法とかはそこで聞けばいいと思うんですけども、先ほど申し上げたように、一般的な、仮に「熱が出たけど、どうしようか。」「ちょっと心配だけど、どうだろうか。」ということです、どこに聞いたらいいのかわからない。いちいち回されるんじゃないかと、やはりちゃんとした窓口を設けて、少しでも町民の方々の安心・安全を、まあ、取り除いてあげるといえるのか、そういうような観点が必要ではないかと思うんですよ。

それで、過去にテレビ等ではですね、37.5度の発熱が4日間続いたら相談しなさいよということ、ちょっと長く期間を取ってありました。それが今では、軽症でも相談しなさいよという情報に変わってるんですけど、まだまだそういうようなことが住民のほうには伝わっていないような気がしております。特に、今回インフルエンザも流行してまいりますので、その辺の情報がですね、いち早く町民の方々に伝わる、また、窓口として、またはいつでも相談を受けるような体制窓口として、ぜひ設置していただきたいと思いますが、その辺はどうでしょうか。

○議長 横尾 武志君

健康・こども課長。

○健康・こども課長 濱村 昭敏君

できるだけ、広報紙・ホームページ等を通じて皆さんに、「何かございましたら健康・こども課のほうに御相談ください。」というのは周知していきたいと思っております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

コロナウイルス関係につきましてはいろいろ議論もございますし、これから長い付き合い、特に我々、今、無症状なんですけども、自分自身コロナにかかっているのではないかという危惧は、当然持っていく必要があろうかと思っております。そのような点でも、日々の3密を避けるという行動には気をつけていきたいと思っておりますし、町のほうでもですね、町民に対するいろんな対策を今後、手立てをお願いしたいと思っております。

それでは次に移らせていただきます。2点目です。新型コロナウイルスの感染拡大は、子供たちにとって学力低下や心理面で大きな影響を与えております。次の質問をさせていただきます。要旨4点目、学校の授業日数が大幅に減っていますが、学習の遅れについての対策はどのようになっているのかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三樹 賢二君

授業日数の不足による学習の遅れについては、校長会等で何度も話し合い、教育委員会での審議を経て、大きくは次の3点の対策を講じました。

1点目です。様々な学校行事、PTA行事等の中止や見直しによる授業時間の確保を図りました。2点目、学習の内容に軽重をつけて、主要教科に大きな遅れのないように指導計画を見直しました。3点目、夏休みの短縮と土曜日授業の実施により、年間の授業時数の不足を補いました。現時点では、このような対策で学習の遅れを取り戻せると考えております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

今、学校は学校でそのような取組をされているようですが、特に私が心配するのは、生徒の将来を左右する、来年高校受験がございますよね。当然3年生は高校受験を控えております。全国

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

的にも休業期間とかばらばらでございますし、当然、学力の差は出てくるのではないかという気がしております。特に3年生に対して、特化したような授業内容とか、また、特化したような取組は何かされる予定ですか。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三桝 賢二君

他の学年と同様に学力の保障は当然やっていくわけですが、中学校3年生だけの取組、学力保障の取組としては、イブニングスタディを本年度も9月末から実施いたします。福岡教育大学の教授推薦の数学科と英語科の4年生の学生に来ていただき、基礎コースを中心に応用コースも開設し、学力の底上げを図ります。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

子供たちも大変不安を持っていると思いますので、できるだけ子供たちの不安を払拭するような形で取組をお願いいたします。

先ほど、今年の夏休みについては短縮して、授業の遅れに、授業を増やそうというお話でございますが、今度12月に入りますと冬休みになりますよね。冬休みについてはどのようにお考えでしょうか。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三桝 賢二君

今後、コロナ感染症による休業も考えられます。また、台風やインフルエンザによる臨時休業があることも想定しますと、冬休みの短縮等も当然検討していかなければならないというふうに考えております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

子供たちにとってはね、酷な中身かも分かりませんが、できるだけ、まあ短期的なことで、学力というのは将来を左右するものでございますので、十分な対応をお願いしたいと思っております。



令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

それでは次に移ります。要旨5点目、学校行事にもいろいろ制約がございます。特に子供たちが大変楽しみにしている修学旅行については、どのようなお考えを持っているかお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三柵 賢二君

修学旅行につきましては、文科省から「感染の拡大防止策を適切に講じた上で、修学旅行等の教育的意義や児童・生徒の心情等を踏まえ、可能な限り、中止ではなく延期扱いすることを検討いただくなどの配慮をお願いします。」という通知が出ています。

そこで芦屋町においては、これらの通知を踏まえて、感染対策を十分に取った上で、3小学校においては9月10日から9月12日の間で、1泊2日の修学旅行を実施することを決定しております。また、中学校においても11月に修学旅行を予定して、今どういった中身、行き先になるのか、そこら辺を含めて検討しているところでございます。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

小学生につきましては、もう9月の10日から12日で1泊2日というお話がございました。当然、子供たちは大変楽しみにしているので、ぜひ実施をお願いしたいと思います。特に中学生につきましては体格も大きいし、バスでの移動というのは密になりやすい。北九州の状況を見ますと、大型バスを借りて、2席に1人座ったりすると。そのときのお金はどうするんかというお話ですけども、これはGo Toキャンペーンを今やっておりますので、それを活用して大型バスの借入れをします。いろんな工夫をされた中で実施をしております。特に、今まで県外または外国に行っていたものを、できるだけ近場で、短期間で。ただ、やることによって子供たちの学校生活の意義もありますし、当然思い出としても成立しますので、ぜひ、中学生は今後11月予定でございますけども、子供たちの思い出に残るような修学旅行を。

それから、ほかのですね、運動会、それから、小学校であれば発表会とか祭りとかいうものも、先ほど、授業の確保のために中止をしたというお話でございますけども、それも子供たちにとってはやっぱり唯一の楽しみではないかなという気がしておりますけど、その辺についてのお考えはどうでしょうか。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三樹 賢二君

先ほど、修学旅行については実施するという事を申し述べましたが、その感染対策についてはちょっと省かせていただきましたが、ちょっと感染対策について、内海議員が北九州方面のことを言われましたので、じゃあ芦屋町ではどうなのかということについて、まず触れさせていただきます。まず当然、旅行期間中の健康チェック、検温、手洗いの励行、マスク着用、そういったものを徹底します。特に、バスの中と宿泊場所の対策が必要となります。9月に修学旅行に行く小学校の例をとりますと、今、議員が言われたように、バスに関しては福岡県修学旅行支援事業を受けて、バスの台数を増やすことで2座席に1名の乗車として3密の回避に努めます。旅館では、食事、風呂、就寝以外はマスクを着用します。また、就寝する部屋は、和洋室に4名の宿泊をするなどの対策を取り、3密を回避します。そのような対策を取って修学旅行に行く予定です。中学校も同じような対策を取ります。

先ほどありました様々な行事ですが、合同音楽祭を例年行っておりましたが、これは全員集まってすることはできませんので、リモート合同音楽祭的なものを今、計画を考えているところでございます。先に、運動会についてはスポーツ大会という名称にしまして、中学校は9月12日、小学校は10月24日に実施する予定です。中学校の文化祭においては方法を変えた上で、文化祭は実施ということにしています。各小学校の祭りについては保護者等の参加がありまして、どうしても3密を避けがたい面がありますので、小学校の祭りについては中止という形を取らせていただいております。

以上でございます。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

何とか工夫をしてですね、実施していただけるということですから、子供たちの思い出づくりなり、またはいろんな楽しみにしていることを実現できるのではないかと考えております。

それでは、最後に一つ教育長にお尋ねいたします。先ほど、修学旅行の実施なり、または学校の遅れなり、コロナ対策によって児童または保護者が大変不安を感じてるのではないかと考えております。その中で児童や生徒の戸惑いや不安に対して、学校関係者として、また教育長としてどのようなフォローをしていくつもりなのか、その点を最後にお尋ねいたします。

○議長 横尾 武志君

教育長。

○教育長 三樹 賢二君

戸惑いや不安は情報の不足から生じることが多いと思います。関係機関と協議・連携し、必要

令和2年第3回定例会（内海猛年議員一般質問）

な情報を必要なときにお知らせし、児童・生徒や保護者の方々の不安を少しでも和らげ、学校・家庭・地域が一体となって、芦屋町の児童・生徒の心身の健康と学びの保障に取り組んでいきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長 横尾 武志君

内海議員。

○議員 1番 内海 猛年君

ありがとうございました。

以上をもちまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長 横尾 武志君

以上で、内海議員の一般質問は終わりました。